

お願いしたいこと

- ▶ タバコを吸わないように
- ▶ 身近な人も一緒に（受動喫煙）やめること
- ▶ 化学物質、溶剤、ペンキなどを扱う職業に関しては、有毒なガスを吸わないよう、職場環境を整えること

おすすめすること

- ▶ 肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチンを受けましょう
- ▶ 定期的な運動を心がけましょう
- ▶ 高濃度の酸素投与が肺に障害を及ぼす可能性があるため、スキューバダイビングや全身麻酔を受ける時には専門医に相談しましょう

誰に相談？

- ▶ 主治医/外来看護師
- ▶ 呼吸器科医
- ▶ 成人診療医など



治療が終わった あとのこと

～肺（呼吸器）～



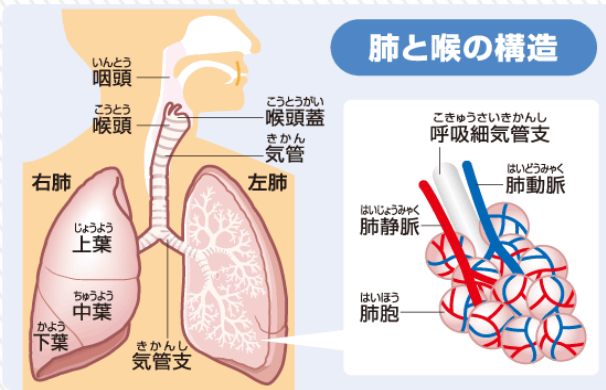
国立成育医療研究センター
小児がんセンター
長期フォローアップ外来

〒157-8535
世田谷区大蔵2-10-1
TEL : 03-3416-0181
FAX : 03-3416-2222



治療が終わった後のこと ～肺（はい）～

肺は空気中の酸素を体内に入れ、身体に酸素を循環させ、二酸化炭素を排出します。吸い込まれた酸素が、肺にある小さな袋（肺胞）に入り、毛細血管に流れていきます。



治療の影響で起こること

- ▶ **拘束性肺障害** 肺が固くなる
肺組織が長期に渡り障害され、線維化する
- ▶ **閉塞性肺障害** 空気の通り道が細くなる
細い気道が炎症により閉塞。肺胞の裂傷や気道の壁肥厚により空気の流れが止まる
- ▶ **感染を繰り返す**
慢性気管支炎、気管支拡張症、反復性肺炎

肺障害があると

- ▶ つかれやすい
- ▶ すぐにハアハアする
- ▶ ゼーゼーする
- ▶ せきやたんがでる
- ▶ むねがいたい
- ▶ せきやねつをくりかえす



- ▶ 息切れ
- ▶ 頻繁な咳、喘鳴、胸痛
- ▶ 感染症を繰り返す
などに注意しましょう

肺の検査

- ▶ 聴診（ちょうしん） 呼吸の音、リズム
- ▶ 呼吸数（こきゅうすう）
- ▶ 酸素飽和度（さんそほうわど）
- ▶ 胸部X線検査（レントゲン）
- ▶ 呼吸機能検査
- ▶ 核医学検査
- ▶ 血液検査



影響が出る可能性のある治療

化学療法

- ▶ ブレオマイシン
- ▶ プスルファン
- ▶ ニトロソウレア、ラニムスチン
- ▶ シクロホスファミド

放射線治療

- ▶ 胸部の放射線照射
- ▶ 全身放射線照射 :
TBI (total body irradiation)

その他

- ▶ 胸部、肺の手術後
- ▶ 造血細胞移植後
特に慢性GVHD発症例

特に注意すべき人

- ▶ 低年齢で治療を受けた人
- ▶ 肺の感染症や気管支喘息など
呼吸器疾患がある人
- ▶ 煙草を吸う人、身近に煙草を吸う人がいる



治療としては

- ▶ 対症療法
(酸素、薬物投与、運動制限など)
- ▶ 予防、定期検診が大切です

